



2024年度（2025年3月期）
第2四半期（中間期）決算

参考資料

2024年11月8日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部: TEL 03-3817-5120

IR部: TEL 03-3817-5122

<https://www.eisai.co.jp/>

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクや不確実性の詳細に関しては、当社の前期有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。ただし、当該記載は当社グループに係るすべてのリスクや不確実性を網羅したものではなく、現時点において予見できない、あるいは重要とみなされていない他の要因の影響を将来的に受ける可能性があります。また、当該記載は本発表日現在において判断したものであり、文中の将来に関する事項はその発生あるいは達成を保証するものではありません。

目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 株式の状況	17
12. 従業員数	17
13. 主要開発品	18

為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2023年度 中間期	期中平均レート	140.99	153.38	177.49	19.74
	期末日レート	149.58	158.00	182.53	20.46
2023年度 通期	期中平均レート	144.62	156.79	181.75	20.14
	期末日レート	151.41	163.24	191.22	20.83
2024年度 中間期	期中平均レート	152.63	165.94	195.46	21.14
	期末日レート	142.73	159.43	191.03	20.46
2024年度	予想レート	145.00	155.00	180.00	20.40

- ・ 2024年5月15日に発表した連結業績予想に変更はありません。なお、製品別売上収益の予想については、直近の売上推移等を踏まえ修正しています。詳細は本資料の9ページをご確認ください。
- ・ 当社の連結財務諸表は国際会計基準(IFRS)にて開示しています。
- ・ 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス(北米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)、アジア・ラテンアメリカ(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米等)の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。
2024年度において、経営の実態をより適切に表示するため、従来、研究開発費に含めていた各報告セグメントにおけるメディカル活動に伴う費用を各セグメントの利益に反映しています。2023年度のセグメント情報は、当該変更を反映しています。
- ・ 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2023年度				2024年度				2024年度	
	中間期	売上比	通期	売上比	中間期	売上比	前同比	増減額	通期予想	売上比
売上収益	3,736	100.0	7,418	100.0	3,850	100.0	103.1	115	7,540	100.0
売上原価	803	21.5	1,553	20.9	823	21.4	102.4	19	1,705	22.6
売上総利益	2,932	78.5	5,864	79.1	3,028	78.6	103.3	95	5,835	77.4
販売費及び一般管理費	1,789	47.9	3,744	50.5	1,970	51.2	110.1	181	3,825	50.7
販売費	950	25.4	1,940	26.1	1,006	26.1	105.8	55	—	—
人件費	546	14.6	1,175	15.8	647	16.8	118.5	101	—	—
管理費他	292	7.8	630	8.5	317	8.2	108.4	24	—	—
研究開発費	828	22.2	1,690	22.8	818	21.2	98.8	△10	1,675	22.2
その他の収益	8	0.2	120	1.6	55	1.4	708.0	48	200	2.7
その他の費用	9	0.2	16	0.2	17	0.4	188.4	8	—	—
営業利益	314	8.4	534	7.2	278	7.2	88.6	△36	535	7.1
金融収益	54	1.4	108	1.5	53	1.4	99.6	△0	—	—
金融費用	11	0.3	24	0.3	17	0.4	144.9	5	—	—
税引前中間(当期)利益	357	9.5	618	8.3	315	8.2	88.4	△41	600	8.0
法人所得税	115	3.1	180	2.4	85	2.2	73.7	△30	—	—
中間(当期)利益	242	6.5	438	5.9	231	6.0	95.4	△11	445	5.9
中間(当期)利益の帰属										
親会社所有者	231	6.2	424	5.7	217	5.6	93.8	△14	430	5.7
非支配持分	10	0.3	14	0.2	14	0.4	131.8	3	—	—

中間(当期)包括利益	857	22.9	1,228	16.6	△21	△0.5	—	△877
------------	-----	------	-------	------	-----	------	---	------

EPS(円)	80.64	147.86	76.13	152.50
DPS(円)	80.0	160.0	80.0	160.0
ROE(%)	—	5.1	—	5.2
DOE(%)	—	5.5	—	5.5

・通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。

・EPS: 基本的1株当たり中間(当期)利益、DPS: 1株当たり配当金、ROE: 親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE: 親会社所有者帰属持分配当率

・2024年5月15日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2024年度の通期予想におけるEPSについては、当該自己株式の取得の影響を考慮しています。

<コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> ・抗がん剤「レンビマ」、不眠症治療剤「デエビゴ」およびアルツハイマー病(AD)治療剤「レケンビ」が引き続き伸長 ・末梢性神経障害治療剤「メチコパール」、筋緊張改善剤「ミオナール」のパキスタンとアフガニスタンにおける権利譲渡、および抗がん剤「ハラヴェン」のオーソライズドジェネリックに関するライセンス許諾に伴う一時金計67億円を計上 ・2023年6月にヒト型抗ヒトTNFαモノクローナル抗体「ヒュミラ」の共同販促契約が満了: 前年同期134億円 ・前年同期に選択的エストロゲン受容体分解薬elacestrantに係る経済的収益受領権の譲渡に伴う一時金123億円を計上
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> ・米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益を費用計上: 当期 739億円、前年同期 699億円
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップモデルを活用した費用負担の抑制(パートナー負担額: 当期 283億円、前年同期 308億円)
■その他の収益	<ul style="list-style-type: none"> ・抗体薬物複合体farletuzumab ecteribulinに関するBristol Myers Squibb(以下 BMS社)との戦略的提携契約の終結に伴い、預り金の取崩益48億円を計上
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> ・売上収益: +191.9億円、営業利益: +24.7億円
■為替感応度 (1円の円安に対しての年間影響額)	<ul style="list-style-type: none"> ・売上収益: 米ドル +18.5億円、ユーロ +3.0億円、英ポンド +0.8億円、人民元 +54.7億円 ・営業利益: 米ドル △4.1億円、ユーロ +1.6億円、英ポンド △0.6億円、人民元 +35.1億円

2. セグメント情報

1) 売上収益

(億円、%)

	2023年度		2024年度		
	中間期	通期	中間期	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業(報告セグメント)計	3,556	6,915	3,730	104.9	99.6
日本 医薬品事業	1,160	2,169	1,073	92.5	92.5
アメリカス 医薬品事業	1,109	2,324	1,370	123.6	114.2
米国	1,086	2,269	1,337	123.2	113.8
中国 医薬品事業	633	1,119	597	94.4	88.1
EMEA 医薬品事業	377	760	395	104.7	96.8
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	278	542	295	106.1	101.3
その他事業	179	503	120	67.0	64.2
連結売上収益	3,736	7,418	3,850	103.1	97.9

・外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2023年度		2024年度		
	中間期	通期	中間期	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業(報告セグメント)計	1,766	3,242	1,793	101.5	95.9
日本 医薬品事業	386	710	365	94.6	94.6
アメリカス 医薬品事業	684	1,382	794	116.0	107.8
中国 医薬品事業	378	566	306	80.8	73.9
EMEA 医薬品事業	186	356	191	102.3	96.7
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	131	228	137	105.0	99.7
その他事業	134	402	83	62.1	58.8
研究開発費	△743	△1,496	△716	96.4	91.4
親会社の本社管理費等	△842	△1,614	△881	104.7	99.6
連結営業利益	314	534	278	88.6	80.7

・パートナーとの戦略的提携に伴う利益および費用の折半金額を親会社の本社管理費等を含めています。

3. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
売上収益	1,160	2,169	1,073	92.5
医療用医薬品	1,042	1,943	959	92.1
一般用医薬品等	119	227	114	96.0
セグメント利益	386	710	365	94.6
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
不眠症治療剤 デエビゴ	167	355	212	126.8
ヤヌスキナーゼ阻害剤 ジセレカ	62	126	72	116.0
抗がん剤 レンビマ	82	155	69	84.9
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	49	95	43	88.2
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	—	4	42	—
慢性便秘症治療剤 ゲーフィス*	35	70	39	109.6
抗てんかん剤 フィコンパ	35	69	38	108.4
抗がん剤 ハラヴェン	41	79	38	91.2
慢性便秘症治療剤 モビコール*	32	66	37	116.5
成分栄養剤 エレンタール*	37	71	37	99.5
パーキンソン病治療剤 エクフィナ	29	58	32	109.7
日本 一般用医薬品等 主力品売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	80	150	77	96.1

* EAファーマの取り扱い製品です。

2)アメリカス 医薬品事業(北米)

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
売上収益	1,109	2,324	1,370	123.6
米国	1,086	2,269	1,337	123.2
セグメント利益	684	1,382	794	116.0
アメリカス 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ 米国	988	2,041	1,159	117.3
(百万米ドル)	982	2,025	1,147	116.7
	(697)	(1,400)	(751)	<107.8>
アルツハイマー病治療剤 レケンビ 米国	4	38	105	2893.0
(百万米ドル)	4	38	105	2893.0
	(3)	(27)	(69)	<2672.4>
抗がん剤 ハラヴェン 米国	60	124	49	82.3
(百万米ドル)	58	121	48	82.1
	(41)	(84)	(31)	<75.8>
不眠症治療剤 デエビゴ 米国	22	51	31	139.5
(百万米ドル)	12	26	15	120.7
	(9)	(18)	(10)	<111.5>

・前同士の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

3)中国 医薬品事業

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
売上収益	633	1,119	597	94.4 <88.1>
セグメント利益	378	566	306	80.8 <73.9>
中国 主力品売上収益				
抗がん剤 レンピマ	184	269	131	71.1 <66.3>
めまい・平衡障害治療剤 メリスロン	70	132	78	112.0 <104.5>
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	71	126	63	87.8 <82.0>
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	36	73	41	116.6 <108.8>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強カネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	36	71	41	113.2 <105.7>
筋緊張改善剤 ミオナール	32	62	39	121.5 <113.4>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	33	69	39	119.6 <111.6>
抗てんかん剤 フィコンパ	26	35	22	83.3 <77.8>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	48	82	17	35.6 <33.2>
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	—	0	15	— <—>
抗がん剤 ハラヴェン	11	20	12	105.2 <98.2>

・前同士の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4)EMEA 医薬品事業(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
売上収益	377	760	395	104.7 <96.8>
セグメント利益	186	356	191	102.3 <96.7>
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 レンピマ／Kispplx	192	382	212	110.8 <102.2>
抗てんかん剤 フィコンパ	61	128	75	122.9 <113.5>
抗がん剤 ハラヴェン	58	117	46	80.7 <74.3>

・前同士の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5)アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
売上収益	278	542	295	106.1 <101.3>
セグメント利益	131	228	137	105.0 <99.7>
アジア・ラテンアメリカ 主力品売上収益				
抗がん剤 レンピマ	69	130	77	112.6 <106.4>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	67	135	73	108.9 <104.3>
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	28	50	24	86.0 <82.5>
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	21	44	21	102.5 <97.9>
抗がん剤 ハラヴェン	18	35	18	97.8 <90.2>
抗てんかん剤 フィコンパ	10	19	10	103.8 <96.7>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4. 主力品売上収益

1)ニューロロジー領域製品

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
ニューロロジー領域製品計	709	1,457	930	131.1 <126.1>
デエビゴ(不眠症治療剤)	194	418	253	130.6 <129.1>
日本	167	355	212	126.8
アメリカス	22	51	31	139.5 <130.1>
レケンビ(アルツハイマー病治療剤)	4	43	163	4498.4 <4248.3>
日本	—	4	42	—
アメリカス	4	38	105	2893.0 <2672.4>
中国	—	0	15	— <—>
フィコンパ(抗てんかん剤)	136	259	147	108.1 <102.2>
日本	35	69	38	108.4
中国	26	35	22	83.3 <77.8>
EMEA	61	128	75	122.9 <113.5>
アジア・ラテンアメリカ	10	19	10	103.8 <96.7>
メチコパール(末梢性神経障害治療剤)	150	283	136	90.8 <87.4>
日本	49	95	43	88.2
中国	71	126	63	87.8 <82.0>
アジア・ラテンアメリカ	21	44	21	102.5 <97.9>
アリセプト(アルツハイマー型認知症治療剤)	126	254	129	103.1 <98.1>
中国	33	69	39	119.6 <111.6>
アジア・ラテンアメリカ	67	135	73	108.9 <104.3>
その他	101	200	102	100.8 <97.1>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

2)オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
オンコロジー領域製品計	1,742	3,432	1,854	106.4 <99.0>
レンビマ/Kisplyx(抗がん剤)	1,514	2,976	1,649	108.9 <101.1>
日本	82	155	69	84.9
アメリカス	988	2,041	1,159	117.3 <108.4>
中国	184	269	131	71.1 <66.3>
EMEA	192	382	212	110.8 <102.2>
アジア・ラテンアメリカ	69	130	77	112.6 <106.4>
ハラヴェン(抗がん剤)	188	375	163	86.6 <81.5>
日本	41	79	38	91.2
アメリカス	60	124	49	82.3 <76.1>
中国	11	20	12	105.2 <98.2>
EMEA	58	117	46	80.7 <74.3>
アジア・ラテンアメリカ	18	35	18	97.8 <90.2>
その他	41	81	43	105.9 <99.3>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し(2024年度)

(億円)

	2023年度		2024年度		
	中間期	通期	中間期	通期予想 今回修正	前回発表
日本	1,160	2,169	1,073	2,180	2,180
医療用医薬品	1,042	1,943	959	1,955	1,955
デエビゴ(不眠症治療剤)	167	355	212	440	440
レンビマ(抗がん剤)	82	155	69	150	150
レケンビ(アルツハイマー病治療剤)	—	4	42	<u>120</u>	100
メチコバル(末梢性神経障害治療剤)	49	95	43	85	85
フィコンパ(抗てんかん剤)	35	69	38	80	80
グーフイス*(慢性便秘症治療剤)	35	70	39	75	75
ハラヴェン(抗がん剤)	41	79	38	70	70
エクフィナ(パーキンソン病治療剤)	29	58	32	70	70
モビコール*(慢性便秘症治療剤)	32	66	37	70	70
エレンタール*(成分栄養剤)	37	71	37	65	65
一般用医薬品等	119	227	114	225	225
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	80	150	77	150	150
アメリカス	1,109	2,324	1,370	2,665	2,665
米国	1,086	2,269	1,337	2,600	2,600
中国	633	1,119	597	1,090	1,090
EMEA	377	760	395	745	745
アジア・ラテンアメリカ	278	542	295	565	565
その他	179	503	120	295	295
連結売上収益	3,736	7,418	3,850	7,540	7,540
主要品目の売上収益					
レンビマ/Kisplyx	1,514	2,976	1,649	<u>3,045</u>	2,965
日本	82	155	69	150	150
アメリカス	988	2,041	1,159	<u>2,120</u>	2,040
中国	184	269	131	240	240
EMEA	192	382	212	395	395
アジア・ラテンアメリカ	69	130	77	140	140
レケンビ	4	43	163	<u>425</u>	565
日本	—	4	42	<u>120</u>	100
アメリカス	4	38	105	<u>265</u>	435
中国、他	—	1	16	<u>40</u>	30
デエビゴ	194	418	253	520	520
日本	167	355	212	440	440
アメリカス	22	51	31	65	65
フィコンパ	136	259	147	270	270
日本	35	69	38	80	80
中国	26	35	22	35	35
EMEA	61	128	75	135	135
アジア・ラテンアメリカ	10	19	10	20	20

・通期予想の修正箇所には下線を付しています。

* EAファーマの取り扱い製品です。

6. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2023年度		2024年度		
	中間期	通期	中間期	前同比	増減額
中間(当期)利益	242	438	231	95.4	△11
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	37	17	9	23.4	△28
確定給付制度に係る再測定	—	54	—	—	—
小計	37	71	9	23.4	△28
損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目					
在外営業活動体の換算差額	579	719	△260	—	△839
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△1	△0	△0	—	1
小計	578	719	△260	—	△838
その他の包括利益合計	615	790	△251	—	△866
中間(当期)包括利益	857	1,228	△21	—	△877
中間(当期)包括利益の帰属					
親会社所有者	846	1,215	△34	—	△880
非支配持分	11	13	13	123.7	3

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2023年度	2024年度	
	中間期	中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前中間利益	357	315	△41
減価償却費及び償却費	195	200	5
減損損失	23	0	△23
運転資本の増減額(△は増加)	△209	△396	△188
利息及び配当金の受取額	43	52	10
利息の支払額	△8	△12	△4
法人所得税の支払額	△69	△111	△42
法人所得税の還付額	30	17	△13
その他	△70	△57	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	293	9	△284
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△94	△58	36
無形資産の取得による支出	△25	△17	8
有形固定資産・無形資産の売却による収入	1	94	93
共同支配企業に対する投資による支出	—	△3	△3
金融資産の取得による支出	△47	△31	16
金融資産の売却・償還による収入	6	23	18
小計<資本的支出等(キャッシュベース)>	△160	8	168
3か月超預金の預入による支出	△0	—	0
3か月超預金の払戻による収入	0	0	0
その他	1	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159	8	167
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額(△は減少)	171	242	71
長期借入金の返済による支出	△100	△0	100
リース負債の返済による支出	△47	△50	△3
自己株式の取得による支出	△0	△291	△291
配当金の支払額	△230	△230	△0
その他	△5	△3	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210	△331	△122
現金及び現金同等物に係る換算差額	218	△46	△264
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	141	△361	△502
現金及び現金同等物の期首残高	2,674	3,047	373
現金及び現金同等物の期末残高	2,815	2,686	△128
フリー・キャッシュ・フロー	133	17	△116

・フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(資本的支出等(キャッシュベース))

<コメント>

<p>■営業活動によるキャッシュ・フロー</p> <p>運転資本は、「レケンビ」等の棚卸資産が増加したことに加え、BMS社との戦略的提携契約の締結時に受領した預り金の取り崩しなどにより増加</p>
<p>■投資活動によるキャッシュ・フロー</p> <p>フランスにおいて、2024年3月に一部製品の販売権を譲渡したことによる一時金を受領</p>
<p>■財務活動によるキャッシュ・フロー</p> <p>短期借入金が増加した一方で、自己株式の取得および配当金の支払いを実施</p>

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2023年度		2024年度		
	中間期	通期	中間期	増減額	通期予想
資本的支出額(キャッシュベース)	119	248	75	△44	525
有形固定資産	94	143	58	△36	160
無形資産	25	105	17	△8	365
減価償却費及び償却費	195	394	200	5	400
有形固定資産	111	224	113	2	220
無形資産	84	170	87	3	180

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2023年度		2024年度			
	3月末	構成比	9月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,649	11.8	1,573	11.9	95.4	△76
のれん	2,364	17.0	2,230	16.9	94.4	△133
無形資産	855	6.1	778	5.9	91.0	△77
その他の金融資産	577	4.1	582	4.4	100.9	5
その他	256	1.8	259	2.0	101.5	4
繰延税金資産	1,008	7.2	973	7.4	96.5	△35
非流動資産合計	6,708	48.1	6,395	48.4	95.3	△313
流動資産						
棚卸資産	1,747	12.5	1,921	14.5	110.0	174
営業債権及びその他の債権	2,172	15.6	1,952	14.8	89.9	△220
その他の金融資産	4	0.0	5	0.0	120.7	1
その他	260	1.9	254	1.9	97.9	△6
現金及び現金同等物	3,047	21.9	2,686	20.3	88.2	△361
流動資産合計	7,230	51.9	6,819	51.6	94.3	△411
資産合計	13,938	100.0	13,214	100.0	94.8	△724

<コメント>

■資産の部	
(のれん)	為替の影響による減少
(棚卸資産)	「レケンビ」等の生産を進めたことによる在庫の増加
(営業債権及びその他の債権)	米メルク社からの販売マイルストーンペイメントの受領に伴う減少
(現金及び現金同等物)	自己株式の取得及び配当金の支払い等による減少

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2023年度		2024年度			
	3月末	構成比	9月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	3.2	450	3.4	100.0	—
資本剰余金	789	5.7	788	6.0	99.9	△1
自己株式	△336	△2.4	△627	△4.7	186.6	△291
利益剰余金	5,265	37.8	5,261	39.8	99.9	△4
その他の資本の構成要素	2,589	18.6	2,329	17.6	90.0	△260
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,756	62.8	8,201	62.1	93.7	△556
非支配持分	234	1.7	243	1.8	103.9	9
資本合計	8,990	64.5	8,443	63.9	93.9	△547
負債						
非流動負債						
借入金	1,348	9.7	998	7.6	74.1	△350
その他の金融負債	385	2.8	357	2.7	92.5	△29
引当金	14	0.1	14	0.1	100.2	0
その他	149	1.1	127	1.0	85.2	△22
繰延税金負債	7	0.1	6	0.0	91.6	△1
非流動負債合計	1,904	13.7	1,503	11.4	78.9	△401
流動負債						
借入金	246	1.8	831	6.3	337.3	585
営業債務及びその他の債務	722	5.2	663	5.0	91.8	△59
その他の金融負債	343	2.5	141	1.1	41.3	△201
未払法人所得税	87	0.6	50	0.4	57.6	△37
引当金	312	2.2	292	2.2	93.4	△20
その他	1,334	9.6	1,291	9.8	96.8	△43
流動負債合計	3,045	21.8	3,268	24.7	107.3	224
負債合計	4,948	35.5	4,771	36.1	96.4	△177
資本及び負債合計	13,938	100.0	13,214	100.0	94.8	△724

<コメント>

■資本の部	
(自己株式)	自己株式の取得による減少
(その他の資本の構成要素)	為替の影響による在外営業活動体の換算差額の減少
■負債の部	
(借入金—流動・非流動)	短期借入金の増加(235億円)および非流動負債から流動負債への振替(350億円)
(営業債務及びその他の債務)	主に未払金の減少
(その他の金融負債)	主にBMS社との戦略的提携契約の締結時に受領した預り金の取り崩し

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上収益	1,969	1,766	1,777	1,905	1,890	1,960
売上原価	439	364	389	361	398	425
売上総利益	1,530	1,402	1,388	1,544	1,493	1,535
販売費及び一般管理費	861	928	922	1,034	995	974
販売費	450	500	466	523	513	493
人件費	260	287	303	326	327	321
管理費他	151	141	153	185	156	161
研究開発費	411	416	417	445	417	400
その他の収益	6	1	6	106	55	0
その他の費用	4	5	△6	12	1	16
営業利益	260	54	61	159	134	144
金融収益	28	26	23	31	33	21
金融費用	5	6	4	8	7	9
税引前四半期利益	283	74	80	181	160	156
法人所得税	74	41	14	51	45	40
四半期利益	209	33	66	130	115	116
四半期利益の帰属						
親会社所有者	203	28	60	133	106	111
非支配持分	6	5	7	△3	9	4
四半期包括利益	684	172	△192	563	526	△547
EPS(円)	70.92	9.73	20.81	46.40	36.95	39.17

・EPS: 基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	126	166	87	181	△86	95
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116	△43	△64	△30	36	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155	△55	76	△93	△119	△212
現金及び現金同等物の期末残高	2,693	2,815	2,848	3,047	3,039	2,686
フリー・キャッシュ・フロー	10	123	23	149	△50	67

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
資本的支出額(キャッシュベース)	86	34	76	53	46	29
有形固定資産	70	24	15	34	36	22
無形資産	16	9	61	19	10	7
減価償却費及び償却費	98	98	99	100	101	100
有形固定資産	55	56	56	57	57	56
無形資産	42	42	43	43	44	43

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2023年度				2024年度	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
資産	13,051	13,340	13,112	13,938	14,202	13,214
資本	8,677	8,848	8,427	8,990	9,197	8,443
親会社の所有者に帰属する持分	8,449	8,617	8,189	8,756	8,958	8,201
負債	4,374	4,491	4,685	4,948	5,006	4,771
借入金	1,362	1,332	1,663	1,594	1,823	1,829
親会社所有者帰属持分比率(%)	64.7	64.6	62.5	62.8	63.1	62.1
負債比率(Net DER/倍)	△0.19	△0.20	△0.17	△0.19	△0.16	△0.13

・負債比率(Net DER)＝(有利子負債(借入金)－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券)÷親会社の所有者に帰属する持分

5)主力品売上収益の四半期推移

(1)ニューロロジー領域製品

(億円)

	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
ニューロロジー領域製品計	367	342	378	370	443	486
デエビゴ(不眠症治療剤)	94	100	118	106	121	132
日本	81	86	99	89	102	110
アメリカス	10	12	16	14	15	16
レケンビ(アルツハイマー病治療剤)	1	3	11	28	63	100
日本	—	—	0	3	15	27
アメリカス	1	3	10	24	46	59
中国	—	—	—	0	2	13
フィコンバ(抗てんかん剤)	81	55	61	62	74	73
日本	18	17	18	16	19	19
中国	26	1	2	7	9	13
EMEA	31	30	33	34	40	35
アジア・ラテンアメリカ	5	5	5	4	5	5
メチコパール(末梢性神経障害治療剤)	78	72	70	64	66	70
日本	25	24	25	20	22	21
中国	38	33	27	28	30	32
アジア・ラテンアメリカ	10	11	12	11	9	12
アリセプト(アルツハイマー型認知症治療剤)	62	64	67	62	69	61
中国	16	17	19	18	21	18
アジア・ラテンアメリカ	32	34	35	34	38	34
その他	53	49	52	47	52	50

(2)オンコロジー領域製品

(億円)

	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
オンコロジー領域製品計	824	918	837	852	941	913
レンビマ/Kispalyx(抗がん剤)	708	806	718	745	835	813
日本	41	41	41	33	34	36
アメリカス	481	507	533	519	598	561
中国	69	115	27	58	70	60
EMEA	90	101	85	105	101	112
アジア・ラテンアメリカ	26	43	32	29	33	44
ハラヴェン(抗がん剤)	95	93	99	88	84	79
日本	21	20	20	18	19	19
アメリカス	29	31	33	31	27	22
中国	6	5	4	4	6	6
EMEA	30	28	33	26	24	23
アジア・ラテンアメリカ	8	10	9	8	9	9
その他	22	19	20	20	22	21

11. 株式の状況

1) 株式数・株主数の状況

2024年9月30日現在

発行可能株式総数	発行済株式の総数	自己株式数	株主数	株主1人当たりの平均持株数
1,100,000,000株	296,566,949株	14,284,687株	104,294名	2,844株

・発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しています。

2) 大株主の状況

2024年9月30日現在

株主名	持株数	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	51,728千株	18.32
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	30,128千株	10.67
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	25,248千株	8.94
日本生命保険相互会社	6,500千株	2.30
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	5,190千株	1.84
公益財団法人内藤記念科学振興財団	4,212千株	1.49
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON	4,064千株	1.44
株式会社埼玉りそな銀行	3,800千株	1.35
JP MORGAN CHASE BANK 385781	3,748千株	1.33
ゴールドマン・サックス証券株式会社 BNYM	3,339千株	1.18

・株式数は、千株未満を切捨てて表示しています。

・持株比率は、発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する割合です。

・自己株式は14,284千株(発行済株式の総数に対する所有割合4.82%)であり、議決権がないため表中に記載していません。

・当中間期末までに以下の大量保有報告書(変更報告書)が提出されていますが、当中間期末の株主名簿で確認できない場合、または保有株式数が上位10位に該当しない場合は、表中に記載していません。なお、()内の保有割合は、自己株式を含む発行済株式の総数に対する割合(切り捨て表示)です。

- ① ブラックロック・ジャパン株式会社他、全11社の共同保有として、18,308千株(6.17%)を2017年8月15日現在で保有(2017年8月21日付変更報告書)
- ② 野村證券株式会社他、全3社の共同保有として、18,380千株(6.20%)を2020年7月15日現在で保有(2020年7月21日付変更報告書)
- ③ ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーとして、20,752千株(7.00%)を2022年8月31日現在で保有(2022年9月5日付変更報告書)
- ④ 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社、日興アセットマネジメント株式会社の共同保有として、16,353千株(5.51%)を2023年9月29日現在で保有(2023年10月5日付変更報告書)
- ⑤ 銀行等保有株式取得機構として、11,156千株(3.76%)を2024年8月30日現在で保有(2024年9月3日付変更報告書)

3) 所有者別所有株式数推移

	2023年度		2024年度		増減
	3月末	構成比(%)	9月末	構成比(%)	
金融機関	106,809千株	36.0	102,068千株	34.4	△4,741千株
金融商品取引業者(証券会社)	12,714千株	4.3	10,541千株	3.6	△2,173千株
その他の法人	14,459千株	4.9	14,383千株	4.9	△76千株
外国法人等	104,731千株	35.3	105,599千株	35.6	868千株
個人・その他	48,320千株	16.3	49,689千株	16.8	1,369千株
自己株式	9,531千株	3.2	14,284千株	4.8	4,753千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

12. 従業員数

1) 連結従業員数

(人)

	2021年度 3月末	2022年度 3月末	2023年度 3月末	2024年度 9月末
連結期末従業員数	11,322	11,076	11,067	11,170
日本	4,591	4,490	4,311	4,380
アメリカス(北米)	1,982	1,755	1,920	1,894
中国	2,044	2,002	1,948	1,936
EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)	1,200	1,234	1,305	1,337
アジア・ラテンアメリカ	1,505	1,595	1,583	1,623

2) 個別従業員数

(人)

	2021年度 3月末	2022年度 3月末	2023年度 3月末	2024年度 9月末
個別期末従業員数	3,034	3,043	2,984	3,046
生産	389	395	400	408
研究開発	859	909	882	915
販売・管理	1,786	1,739	1,702	1,723

・期末従業員数は、就業人員数(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む)を表示しています。

13. 主要開発品

NCT: ClinicalTrials.gov の識別番号、 jRCT: Japan Registry of Clinical Trials の識別番号
日: 日本、米: 米国、欧: 欧州、中: 中国、P: Phase(臨床試験段階)
○: 2024 年 4 月以降の進捗、◎: 2024 年 7 月以降の進捗

(1) 神経

開発品コード: BAN2401 一般名: レカネマブ 製品名: レケンビ		導入品 (BioArctic AB)	
薬効/作用機序: アルツハイマー病治療剤/抗 A β プロトフィブリル抗体		注射剤(点滴静注・皮下注射)	
[概要] アミロイド β (A β)プロトフィブリルに対する IgG1 抗体です。神経毒性を呈することが報告されている A β プロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー病(AD)の進行を抑制し、認知機能と日常生活機能の低下を遅らせます。早期 AD に係る適応で、日本、米国、中国、韓国、香港、イスラエル、アラブ首長国連邦、英国(北アイルランドを除く)において承認を取得し、欧州などにおいて承認申請中です。2024 年 7 月、欧州医薬品庁の医薬品委員会(CHMP)は、販売承認申請について否定的な見解を採択し、当社は本見解に対する再審議を請求しました。点滴静注や皮下注射製剤による維持投与の開発が進行中です。Biogen Inc.と共同開発を行っています。			
早期 AD	アジア(韓国) 英国 欧州	○ ◎	承認(2024 年 4 月) 承認(2024 年 8 月) 申請(2023 年 1 月受理)
301 試験(Clarity AD)	NCT03887455		
早期 AD 静注維持投与(用法用量追加)	米国	○	申請(2024 年 6 月受理)
201/301 試験	NCT01767311/NCT03887455		
早期 AD 皮下注射製剤維持投与(剤形追加)	米国	◎	段階的申請完了(2024 年 10 月)
301 試験	NCT03887455		
プレクリニカル AD(効能効果追加)	日米欧		PⅢ
303 試験(AHEAD 3-45)	NCT04468659		
開発品コード: E2007 一般名: ペランパネル 製品名: フィコンパ		自社品	
薬効/作用機序: 抗てんかん剤/AMPA 受容体拮抗剤		経口剤・注射剤	
[概要] グルタミン酸による AMPA 型グルタミン酸受容体の活性化を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。また、日本、中国では、単剤療法の承認も取得しています。全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。欧州および中国では、経口懸濁液の承認を取得しています。日本では、細粒剤および注射剤の承認を取得しています。2023 年 1 月、米国における権利を譲渡しました。			
てんかんの強直間代発作の併用療法(効能効果追加)	中国	○	承認(2024 年 4 月)
332 試験	NCT01393743		
開発品コード: E2006 一般名: レンボレキサント 製品名: デエビゴ		自社品	
薬効/作用機序: 不眠症治療剤/オレキシン受容体拮抗剤		経口剤	
[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、速やかな入眠と睡眠維持をもたらすことが期待されます。不眠症に係る適応で、日本、米国、アジアなどにおいて承認を取得しています。			
不眠症	中国		申請(2024 年 1 月受理)
311 試験	NCT04549168		
開発品コード: E0302 一般名: メコバラミン 製品名: ロゼバラミン		自社品	
薬効/作用機序: 筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療剤		注射剤	
[概要] 末梢性神経障害治療剤として広く使われているメコバラミンの承認用量の 100 倍(1 回投与量として)の高用量製剤です。			
ALS	日本	◎	承認(2024 年 9 月)
JETALS(医師主導治験)	NCT03548311		

開発品コード: E2023 一般名: lorcaserin		導入品 (Arena Pharmaceuticals)	
薬効/作用機序: ドラベ症候群治療剤/セロトニン 2C 受容体作動剤		経口剤	
[概要] 選択的に脳内のセロトニン 2C 受容体を刺激することにより、GABA 作動性抑制性インターニューロンを活性化し、GABA を介したシナプス抑制を増加させることでドラベ症候群患者様の発作抑制を期待しています。肥満症治療剤適応の承認を取り下げましたが、ドラベ症候群の患者様団体から要請を受けたことから、米国にて延長アクセスプログラムを継続し、さらに、適応症取得をめざすフェーズⅢ試験が進行中です。米国食品医薬品局からドラベ症候群に関する希少疾病用医薬品(オーファンドラッグ)の指定を受けています。			
ドラベ症候群		米国	PⅢ
304 試験	NCT04572243		
開発品コード: E2814		共同創出品(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)	
薬効/作用機序: 抗 MTBR タウ抗体		注射剤	
[概要] 当社とユニバーシティ・カレッジ・ロンドンとの共同研究を通じて見出された抗微小管結合領域(Microtubule binding region: MTBR)タウ抗体です。タウ伝播種の脳内拡散を抑制することを期待しています。優性遺伝アルツハイマーネットワーク試験ユニット(DIAN-TU)が実施する臨床試験(フェーズⅡ/Ⅲ試験 Tau NexGen)において、抗タウ薬として最初の評価対象薬に選定されました。			
優性遺伝 AD(レカネマブとの併用療法)		日米欧	PⅡ/Ⅲ
Tau NexGen 試験	NCT05269394		
優性遺伝 AD		米欧	PⅠb/Ⅱ
103 試験	NCT04971733		
孤発性早期 AD(レカネマブとの併用療法)		日米	◎ PⅡ
202 試験	NCT06602258		
開発品コード: E2511		自社品	
薬効/作用機序: TrkA 統合シナプス再生剤		経口剤	
AD		米国	PⅠ
開発品コード: E2025		自社品	
薬効/作用機序: 抗 EphA4 抗体		注射剤	
AD		米国	PⅠ
開発品コード: E2086		自社品	
薬効/作用機序: オレキシン受容体作動薬		経口剤	
ナルコレプシー		米国	PⅠb
開発品コード: EA4017		自社品	
薬効/作用機序: —		経口剤	
がん化学療法に伴う末梢神経障害(EA ファーマが開発)		日本	PⅠ

(2)がん

開発品コード: E7080 一般名: レンパチニブ 製品名: レンビマ		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/キナーゼ阻害剤		経口剤	
<p>[概要] 血管内皮増殖因子受容体(VEGFR)である VEGFR1、VEGFR2、VEGFR3 や線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR)の FGFR1、FGFR2、FGFR3、FGFR4に加え、血小板由来増殖因子受容体(PDGFR)の PDGFRα、KIT、RET などの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼに対する選択的阻害活性を有する、経口投与可能な自社創製のマルチキナーゼ阻害剤です。単剤療法として、甲状腺がんに係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。肝細胞がん(ファーストライン)に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しており、胸腺がんに係る適応で、日本において承認を取得しています。エベロリムスとの併用療法では、腎細胞がん(セカンドライン)に係る適応で、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しています。ペムプロリズマブとの併用療法では、腎細胞がん(ファーストライン)に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しており、子宮内膜がん(全身療法後)に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認(一部の条件付き承認の国を含む)を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応においては、Kisplyx の製品名で発売しています。Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA(米メルク社)と共同開発を行っています。</p>			
抗 PD-1 抗体ペムプロリズマブとの併用療法 米メルク社と共同開発(効能効果追加)			
肝細胞がん(肝動脈化学塞栓療法との併用療法)・ファーストライン		日米欧中	P III
LEAP-012 試験	NCT04246177		
食道がん(化学療法との併用療法)・ファーストライン		日米欧中	P III
LEAP-014 試験	NCT04949256		
胃がん(化学療法との併用療法)・ファーストライン		日米欧中	P III
LEAP-015 試験	NCT04662710		
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発(効能効果追加)			
肝細胞がん		日本	P I b
<p>◎ 頭頸部がん(セカンドライン)を対象とした米国、欧州でフェーズ II 段階にあった LEAP-009 試験について、独立データモニタリング委員会の推奨に従い、中止を決定したため、本表から削除しました。</p>			
開発品コード: E7389 一般名: エリブリン 製品名: ハラヴェン		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/微小管ダイナミクス阻害剤		注射剤	
<p>[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて乳がんに係る適応で承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて脂肪肉腫(日本では悪性軟部腫瘍)に係る適応で承認を取得しています。</p>			
単剤療法(剤形追加)			
リポソーム製剤		日欧	P I
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発(剤形追加)			
リポソーム製剤		日本	P I b/II
120 試験	NCT04078295		
開発品コード: E7090 一般名: タスルグラチニブ 製品名: タスフィゴ		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/FGFR1、FGFR2、FGFR3 阻害剤		経口剤	
<p>[概要] 経口投与可能な線維芽細胞増殖因子(FGF)受容体(FGFR1、FGFR2、FGFR3)選択的チロシンキナーゼ阻害剤です。</p>			
FGFR2 融合遺伝子を有する胆道がん		日本	◎ 承認(2024年9月)
201 試験	NCT04238715		
乳がん		日本	P I b

開発品コード: MORAb-202 一般名: farletuzumab ecteribulin (FZEC)		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/葉酸受容体 α をターゲットとする抗体薬物複合体(ADC)		注射剤	
[概要] 抗葉酸受容体 α 抗体と既に承認されている抗がん剤エリブリンを、リンカーを介して結合した ADC です。腫瘍部位にエリブリンを集中させ、葉酸受容体 α 陽性の子宮内膜がん、卵巣がん、肺がん、乳がんなどへの治療効果を期待しています。2024 年 6 月、Bristol Myers Squibb とのグローバルな共同開発・共同販促契約を終結し、当社単独でのグローバル開発・商業化に移行しました。			
非小細胞肺がん		米欧	P II
203 試験	NCT05577715		
卵巣がん、腹膜がん、卵管がん		日米欧	P II
205 試験	NCT05613088		
固形がん		米欧	P I / II
201 試験	NCT04300556		

開発品コード: BB-1701		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/HER2 をターゲットとする ADC		注射剤	
[概要] 抗 HER2 抗体と既に承認されている抗がん剤エリブリンを、リンカーを介して結合した ADC です。腫瘍部位にエリブリンを集中させ、HER2 陽性の乳がんなどへの治療効果を期待しています。Bliss Biopharmaceutical (Hangzhou) Co., Ltd. と戦略的提携に向けたオプション権を有する共同開発契約を締結しています。			
乳がん		日米	P II
205 試験	NCT06188559		

開発品コード: E7386		共同創出品 (PRISM BioLab)	
薬効/作用機序: 抗がん剤/CBP/ β -catenin 相互作用阻害剤		経口剤	
[概要] CREB-binding protein (CBP) と β -catenin のタンパク質-タンパク質相互作用を阻害し、Wnt シグナルに依存した遺伝子発現を調節します。Wnt シグナルに依存した腫瘍増殖の抑制を期待しています。			
固形がん(ベムプロリズマブとの併用療法)		日米欧	P I b / II
201 試験	NCT05091346		
固形がん		日米欧	P I
固形がん(レンバチニブとの併用療法)		日米欧	P I b

開発品コード: H3B-6545		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/ER α 阻害剤		経口剤	
[概要] 経口投与可能な選択的エストロゲン受容体(ER) α 共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型 ER α をともに阻害します。ER 陽性/HER2 陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。			
乳がん(CDK4/6 阻害剤パルボシクリブとの併用療法)		米欧	P I b

開発品コード: E7130		共同創出品(ハーバード大学)	
薬効/作用機序: 抗がん剤		注射剤	
固形がん		日本	P I

開発品コード: E7766		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤		注射剤	
固形がん		米欧	P I b

(3) グローバルヘルス

開発品コード: E1224 一般名: ホスラブコナゾール	自社品
薬効/作用機序: 抗真菌剤/エルゴステロール合成阻害剤	経口剤
<p>[概要] 独立非営利財団 Drugs for Neglected Diseases initiative(DNDi)と、世界で最も顧みられない病気の一つであるマイセトーマ(菌腫)の内、特にアンメットメディカルニーズの高い真菌性菌腫(eumycetoma)に対する新規治療薬として共同開発を行っています。当社は非臨床試験および治験薬の提供などを担当しています。本剤のフェーズ II b/III 試験は、スーダンにて DNDi およびスーダンのハルツーム大学菌腫研究センターにより行われました。現在、スーダンにおける承認申請に向けた準備を進めています。公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金(GHIT Fund)の助成を受けています。</p>	

開発品コード: SJ733	共同開発品(ケンタッキー大学)
薬効/作用機序: 抗マラリア剤/ATP4 阻害剤	経口剤
<p>[概要] マラリア蔓延地域での治療に適した、即効性と安全性に優れ、持続的な治療と再発防止を可能とし、現在問題となっている既存の抗マラリア薬への耐性を克服する薬剤となることを期待しています。ケンタッキー大学と共同研究を行っており、当社は原薬の提供と製剤製造を担当しています。本剤のフェーズ II 試験は、ペルーにてケンタッキー大学により行われています。GHIT Fund の助成を受けています。</p>	

開発品コード: AWZ1066S	共同開発品(リバプール熱帯医学校)
薬効/作用機序: 抗フィラリア剤/抗ボルバキア作用	経口剤
<p>[概要] リバプール熱帯医学校およびリバプール大学と、主なフィラリア症であるリンパ系フィラリア症および河川盲目症に有効な新規フィラリア駆虫薬創出に向けた共同研究を行っており、当社は原薬の提供と製剤製造を担当しています。本剤のフェーズ I 試験は、英国にてリバプール熱帯医学校により行われています。GHIT Fund および英国 Medical Research Council の助成を受けています。</p>	

(4) 消化器

開発品コード: AJG555 製品名: モビコール配合内用剤	導入品(Norgine)	
薬効/作用機序: 慢性便秘症治療剤/ポリエチレングリコール製剤	経口剤	
<p>[概要] ポリエチレングリコール製剤により腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促す経口便秘薬です。日本において、2 歳以上の小児および成人の慢性便秘症の治療を適応として承認を取得しています。EA ファーマが開発しています。</p>		
慢性便秘症 2 歳未満適応(用法用量追加)	日本	P III
CT3 試験	jRCT2031230142	

開発品コード: AJM347	自社品	
薬効/作用機序: —	経口剤	
炎症性腸疾患(EA ファーマが Ensho Therapeutics, Inc.と共同開発)	欧州	P I

開発品コード: EA1080	自社品	
薬効/作用機序: —	経口剤	
炎症性腸疾患(EA ファーマが Ensho Therapeutics, Inc.と共同開発)	欧州	P I

開発品コード: EA3571	自社品	
薬効/作用機序: —	経口剤	
非アルコール性脂肪肝炎(EA ファーマが開発)	日本	P I

(5) その他

開発品コード: FYU-981 一般名: ドチヌラド 製品名: URECE		導入品 (富士薬品)	
薬効/作用機序: 痛風・高尿酸血症治療剤/選択的 URAT1 阻害剤		経口剤	
[概要] 尿酸トランスポーターの 1 つである URAT1 を選択的に阻害し、腎臓での尿酸の再吸収を妨げ、尿中への尿酸排泄を促進します。その他のトランスポーターなどへの影響が少ないため、より少ない用量で血清尿酸値を低下させ、副作用や薬物相互作用のリスクが低いことが期待されています。日本においては、2020 年 1 月に富士薬品が製造販売承認を取得しています。2020 年 2 月に中国、2021 年 8 月に ASEAN5 各国における開発・販売に関するライセンス契約を富士薬品と締結しました。			
痛風・高尿酸血症		アジア(タイ)	◎ 承認(2024 年 9 月)
痛風		中国	申請(2024 年 1 月受理)
301 試験	NCT05007392		
開発品コード: E6742		自社品	
薬効/作用機序: 全身性エリテマトーデス(SLE)治療剤/TLR7/8 阻害剤		経口剤	
[概要] 自然免疫系の受容体である Toll 様受容体(TLR)は、活性化により炎症反応や抗ウイルス応答を引き起こします。本剤は SLE の発症機序に関連しているとされる TLR7/8 の経口選択的阻害剤です。国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の医療研究開発革新基盤創成事業(GiCLE)に採択されています。			
SLE		日本	P I / II
101 試験	NCT05278663		
開発品コード: E8001		自社品	
薬効/作用機序: —		注射剤	
臓器移植に伴う拒絶反応		日本	P I